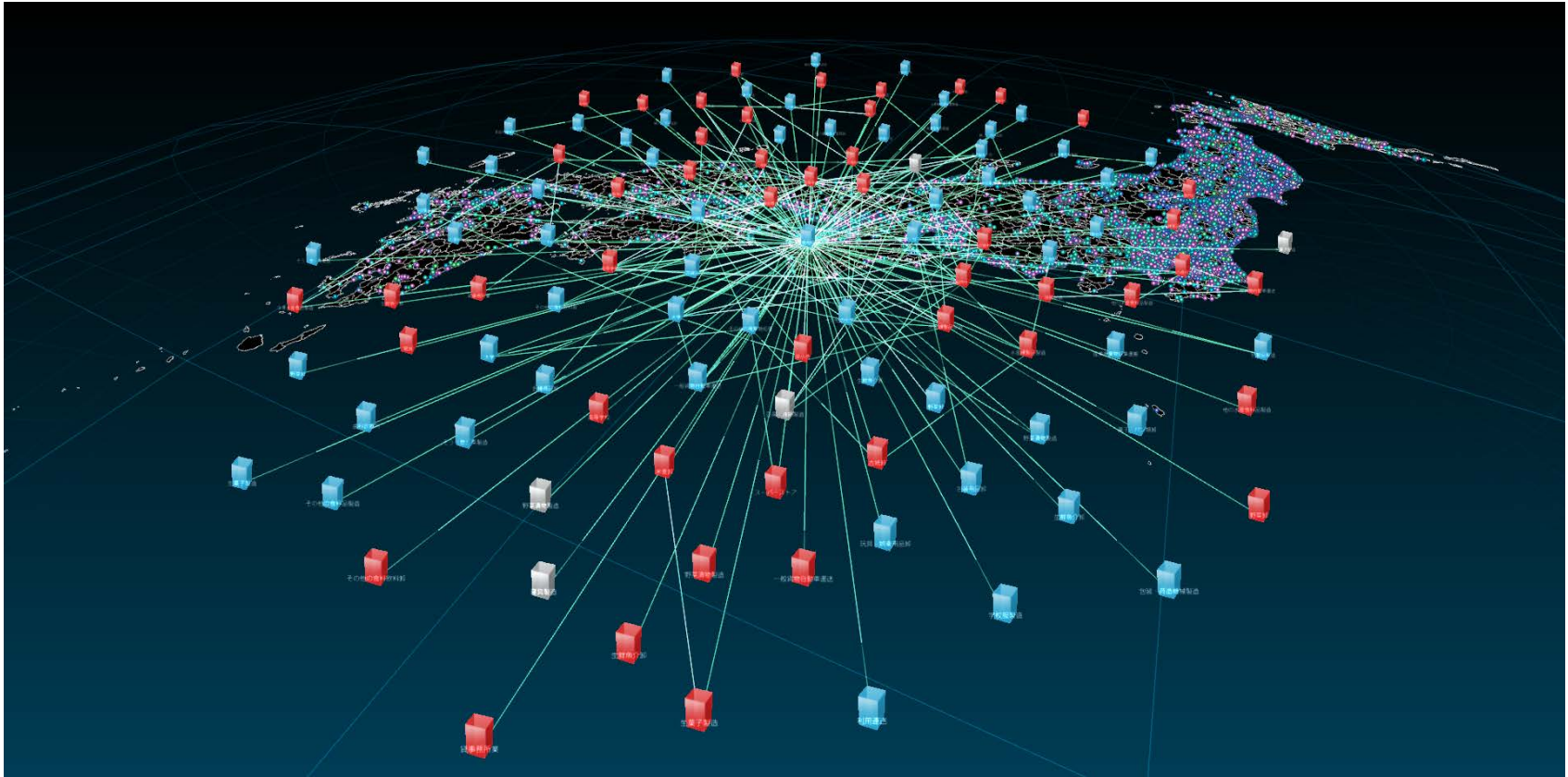


地域経済分析システム（**RESAS**）について



平成28年9月

内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局

1. システムの特徴

(1) 誰もが使える、わかりやすい画面操作

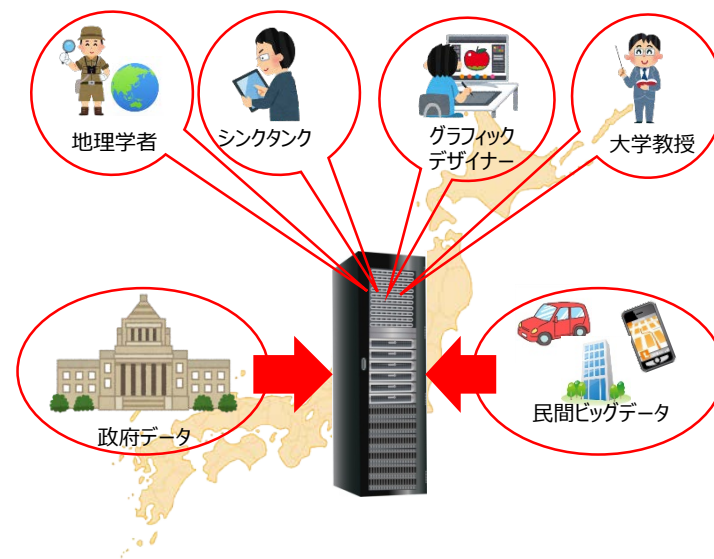
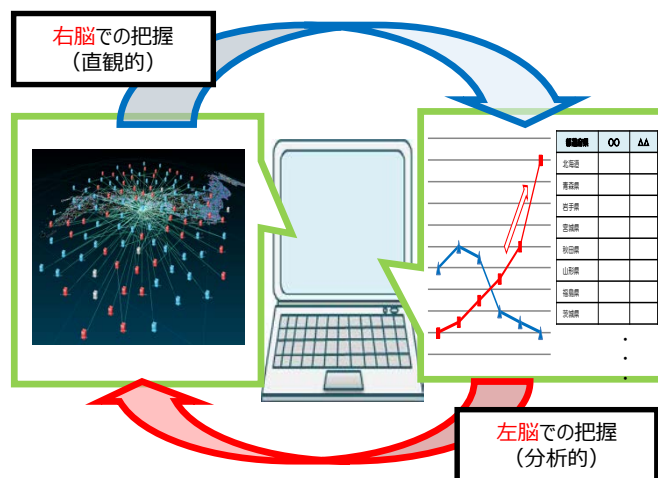
- 右脳（直感）と左脳（論理）で理解できるデータ・ビジュアライゼーション（データ可視化）
- 「鳥の目→虫の目」で可視化

(2) 日本全体のデータ利活用コストの低減

- 勘や経験や思い込み（KKO）から、データに基づく政策立案を支援（自治体職員は分析事例を共有可）
- オープンデータを通じて地域住民による地方創生を支援

(3) 永続的に進化し続けるシステム

- 地方創生に役立つ政府・民間のビッグデータを追加・更新
- 官民ビッグデータのプラットフォームとして進化・発展



2. RESASのマップ一覧

1. 産業マップ

- 1-1. 全産業花火図 (※)
- 1-2. 産業別花火図 (※)
- 1-3. 企業別花火図 (※)
- 1-4. 稼働力分析
- 1-5. 中小・小規模企業財務比較
- 1-6. 特許分布図
- 1-7. 事業所立地動向
- 1-8. 輸出入花火図
- 1-9. 海外への企業進出動向

2. 地域経済循環マップ

- 2-1. 地域経済循環図
- 2-2. 生産分析
- 2-3. 分配分析
- 2-4. 支出分析

3. 農林水産業マップ

- 3-1. 農業マップ
 - 3-1-1. 農業花火図
 - 3-1-2. 農産物販売金額
 - 3-1-3. 農地分析
 - 3-1-4. 農業者分析
- 3-2. 林業マップ
 - 3-2-1. 林業総収入
- 3-3. 水産業マップ
 - 3-3-1. 海面漁獲物販売金額

4. 観光マップ

- 4-1. From-to分析 (滞在人口)
- 4-2. 滞在人口率
- 4-3. メッシュ分析 (流動人口)
- 4-4. 目的地分析
- 4-5. 外国人訪問分析
- 4-6. 外国人滞在分析
- 4-7. 外国人メッシュ分析
- 4-8. 外国人入出国空港分析
- 4-9. 外国人移動相関分析
- 4-10. 外国人消費花火図
- 4-11. 外国人消費分析

5. 人口マップ

- 5-1. 人口構成
- 5-2. 人口増減
- 5-3. 人口の自然増減
(地域少子化・働き方指標 (散布図))
- 5-4. 人口の社会増減
- 5-5. 将来人口推計

6. 消費マップ

- 6-1. 消費花火図
- 6-2. From-to分析 (消費動向)

7. 自治体比較マップ

- 7-1. 経済構造
 - 7-1-1. 企業数
 - 7-1-2. 事業所数
 - 7-1-3. 従業者数
 - 7-1-4. 製造品出荷額等
 - 7-1-5. 年間商品販売額
 - 7-1-6. 付加価値額
 - 7-1-7. 労働生産性
- 7-2. 企業活動
 - 7-2-1. 創業比率
 - 7-2-2. 黒字赤字企業比率
 - 7-2-3. 経営者平均年齢 (※)
- 7-3. 労働環境
 - 7-3-1. 有効求人倍率
 - 7-3-2. 一人当たり賃金
- 7-4. 地方財政
 - 7-4-1. 一人当たり地方税
 - 7-4-2. 一人当たり市町村民税法人分
 - 7-4-3. 一人当たり固定資産税

黒字：従来メニュー

赤字：第Ⅱ期開発3次リリース分

※ 国および地方自治体の職員が一定の制約の下で利用可能な「限定メニュー」

3. 本システムにより得られる効果

(1) 【中立性・客観性】データに基づく政策意思決定

経験や勘に基づく、旧来型の意思決定システムから、データや「見える化」された企業間取引等に基づく、より客観的・中立的な政策意思決定システムへの転換が促進される。

(2) 【ベンチマーク・比較】立ち位置の確認、他の自治体と比較

全国平均や他の自治体と比べ、自らの「立ち位置（ランキング）」を確認できる。また、講じた施策の効果を時系列で追いかけることも可能。他の自治体と比較することもできる。

(3) 【重点化・効果的支援】「地域中核企業」の候補企業の抽出

地域経済を支える「地域中核企業」の候補企業を、自治体の判断基準で自由に抽出することができる。これにより、より効率的かつ効果的な政策資源の投入が可能となる。

(4) 【スピード】施策のPDCAサイクルの加速化

自治体が講じた施策の効果をより短期間で把握すること（政策評価）ができるため、施策のPDCAサイクルをより加速化することで、より効率的かつ効果的な政策立案につながる。

(5) 【ギャップ】地域経済の現状と施策のギャップの把握

国・都道府県・市町村の施策を一覧できる「**施策マップ**」と一緒に見ることで、地域経済の現状と自治体が講じている施策の「ギャップ」を把握できる。

(※) 施策マップ → https://www.mirasapo.jp/measure_map/

4. RESASの普及活動①政策立案ワークショップ等

地方創生☆RESASフォーラム2015

「ビッグデータが変える、地方と国の未来」と題して、RESASの可能性について、政府、企業、学識経験者が議論。

また、地方自治体によるRESASの先進的な活用事例について、専門家の講評とともに紹介。

あわせて、第Ⅱ期開発1次リリースを行った。

【日時】2015年9月15日（火）

13:00～16:20

【会場】日経ホール（東京都千代田区）

【参加総数】432名

〔定員を大きく上回る**1,441名**が応募
インターネット中継で**43,466名**が視聴〕

○<http://expo.nikkeibp.co.jp/bdc/resas/2015/>



石破大臣が講演の様子

地方創生☆RESAS地域セミナー

RESASが目指すものやその可能性、先進的な活用事例、今回RESASに追加となる新しいマップ（機能）について、広く国民の皆様方に知っていただくことを目的として全国10地域で開催。

【開催期間】2015年9月18日（金）～10月13日（火）

【開催地】札幌市、仙台市、さいたま市、名古屋市、富山市、
大阪市、広島市、高松市、
福岡市、那覇市

【参加総数】3,520名

〔一般の部 **1,731名**
自治体の部 **1,789名**〕

○<http://nkbp.jp/resas10>



10/8（木）関東会場の様子

政策立案ワークショップ

地方自治体に産業・観光・人口の有識者を派遣し、RESASを活用した政策立案等に関して議論を行うとともに、分析へのアドバイスを行う。

当日の動画を全国の自治体職員に配信し、RESASの活用に関する知識やノウハウの共有を図る。年度内6回開催。 8/11（火）うきは市の様子



【開催スケジュール】

8月11日（火） 第1回福岡県うきは市
10月23日（金） 第2回山形県酒田市
11月20日（金） 第3回愛媛県新居浜市、西条市
11月27日（金） 第4回北海道帯広市
1月29日（金） 第5回島根県松江市
2月24日（水） 第6回三重県四日市市

出前講座

地域の未来を担う学生に向けたRESASの操作説明やワークショップを通じて、地域の未来を考える機会を提供。

【開催実績】延べ24校（2015年10月～2016年1月）

○高校・高専

品川女子学院、東海大学付属仰星高校、福井工業高等専門学校、
八重山・商工・農林高校、沖縄工業高等専門学校、辻高校、池田高校

○大学

茨城大、昭和女子大、大阪大・京都大、皇學館大、千葉大、摂南大、
東北公益文科大、福井県立大、岡山大、金沢大、立教大

5. RESASの普及活動②地方創生☆政策アイデアコンテスト2015

RESASを活用して自らの地域を分析し、地域を元気にするような政策アイデアを国民から募集

○募集区分：高校生以下の部／大学生以上一般の部 募集期間：平成27年9月15日(火)～11月15日(日)

○最終審査：平成27年12月13日(日) 会場：東京大学 伊藤国際学術研究センター 伊藤謝恩ホール



応募総数 907件! 高校生以下の部：206件（中学生29件） 大学生以上一般の部：701件（大学生431件）

地方創生担当大臣賞



【高校生以下の部】
福島市立岳陽中学校
イノベーション部
＜福島県福島市＞



【大学生以上一般の部】
筑波大学社会工学域・
都市計測実験室
＜北海道津別町＞



石破地方創生担当大臣と受賞者全員で記念撮影

優秀賞

【高校生以下の部】

大口明光学園高等学校・チーム高2B＜鹿児島県伊佐市＞

【大学生以上一般の部】

株式会社ビジネスクロス・長野県諏訪チーム＜長野県諏訪地域＞

協賛企業賞

徳島県庁リーサス活用実践チーム＜徳島県
神山村・美波町＞、上田昭弘（基山町商
工会）＜佐賀県基山町＞、チーム24分です
むまち＜東京都西東京市＞、名古屋大学大
学院情報科学研究科・尾張御庭番衆＜岐
阜県坂祝町、静岡県御殿場市＞、高橋涼
花（福島県立ふたば未来学園高等学校）
＜福島県広野町＞、三浦奈々美（仙台白
百合学園高等学校）＜宮城県仙台市＞



プレゼンの様子



400名収容の会場は満員

コンテストの動画はYouTube内まち・ひと・しごと創生本部事務局公式チャンネルで公開中

<https://www.youtube.com/watch?v=gogcSnPYIkU> （151213地方創生☆政策アイデアコンテスト2015 で検索）

その
後

福島市立岳陽中学校イノベーション部の政策アイデアが地方創生加速化交付金の対象に！！（H28.3.18決定）

福島県北5市町誘客推進事業（交付予定額：9,100千円 対象市町：福島市、伊達市、桑折町、国見町、川俣町）
5市町が誘客推進協議会を設立し、岳陽中学の提案した観光モニターツアーを実施し、強みや改善点の洗い出し等を行う。

6. RESASにより芽生えた地域における新しい動き

○地域住民がRESASを使って自分の故郷や地域を分析して、インターネット上で投稿したり、RESASを見ながら地域について語り合うなど、各地のNPOや地域住民による新しい動きを創出。



6/11(木) 主催：合同会社いとへん
「RESASって何？どうやって地域に活かせるの？」（三鷹市）



7/11(土) 主催：国立RESAS研究会
「RESAS BAR 地方創生まちづくり勉強会 @国立」



7/12(日) 主催：好齡ビジネスパートナーズ
「データを活かして地方創生アイデアソン！
～地域経済分析システム「RESAS」活用講座～」（三鷹市）



10/18(日) 主催：Code for Tokyo
Civic Hack Day「RESASを使って地域の課題を発見しよう！」



11/26(木)
主催：チーム24分ですむまち西東京
「西東京RESASカフェ」



12/10(木) 主催：NPO法人マイスタイル
「BAR RESAS」第3回（RESAS×観光）
（小平市）
<http://mystyle-kodaira.net/event/barresas/>

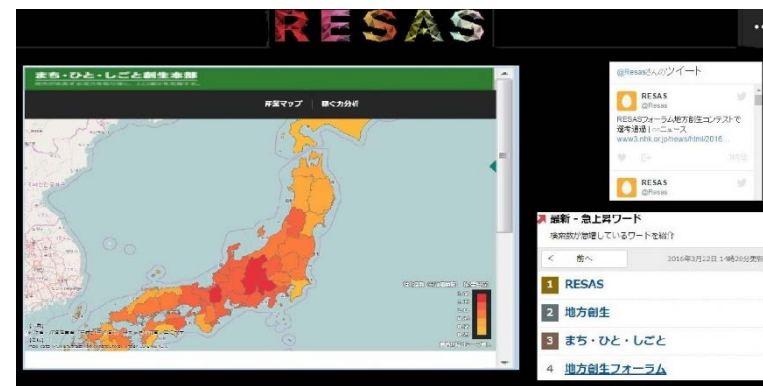
7. RESASの今後の方向性について（平成28年度）

- 平成27年4月のリリース以降、RESASは「地方自治体の政策意思決定支援ツール」として、「勘と経験と思い込み（KKO）」から「データに基づく政策意思決定」への移行するのを支援。今や、**地方創生の各種交付金の目標設定やPDCAに欠かせないツール**となっている。
- 全都道府県から907件もの応募があった「地方創生☆政策アイデアコンテスト2015」など、**地域住民がRESASを使って地域の将来を考え、互いに語り合う新たな動き**も芽生えつつある。
- データを使って地域の課題を「見える化」し、課題解決の糸口とする、そうした取組を積極的に支援していくため、RESASは、平成28年度、以下のような進化・発展を目指していく。

1. 開発（第Ⅲ期開発）

- ◆ まちづくり、医療福祉など、**新たなマップ・データ追加**
- ◆ マップの重ね合わせ（**マッシュアップ**）による新しい分析手法
- ◆ 他のブラウザやタブレットに対応（**インターフェイス改善**）
- ◆ 利用者のニーズに応じた画面設計、情報共有機能（**ダッシュボード**）

ダッシュボード表示イメージ



2. 普及促進

- ◆ 「いつでも、どこでも、誰でも」学べる「**Eラーニングシステム**」及びEラーニングでRESASの習熟度を測る「**RESASマスター制度**」
- ◆ 地域学習に役立つ、教育機関向けRESAS教材の開発
- ◆ 「地方創生☆政策アイデアコンテスト2016」（1月）
- ◆ 地域セミナー、政策立案ワークショップ等の開催（継続）

Eラーニングシステム・RESASマスター制度のイメージ



内閣官房 まち・ひと・しごと創生本部事務局 ビッグデータチーム

マップや機能： 堀、大村、花澤

その他： 松本、浜村、堀口

(電話) 03-3581-4541

(メール) g.resas@cas.go.jp